第５章

用語の解説

	用語	フリガナ	意味
イ	**インバウンド**	インバウンド	外国人が訪れてくる旅行（訪日旅行）のこと。
エ	**AI**	エーアイ	人工知能（Artificial Intelligence）の略で、人間の言葉の理解や認識、推論などの知的行動をコンピュータに行わせる技術のこと
オ	**オーバーツーリズム**	オーバーツーリズム	「観光公害」と同義。特定の観光地において、旅行者や訪問客の著しい増加等により、地域住民の生活や自然環境、景観等に対して負の影響をもたらしたり、観光客の満足度を著しく低下させるような状況のこと
カ	**関係人口**	カンケイジンコウ	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと
ケ	**KGI**	ケージーアイ	Key Goal Indicatorの略で企業や組織、プロジェクトの最終目標の達成状況を図るための指標のこと
コ	**耕作放棄地**	コウサクホウキチ	以前耕作していた土地で、過去１年間以上作物を作付けせずこの数年の間に作付けする考えのない土地のこと
	交流人口	コウリュウジンコウ	一時的にその地域を訪れる人のこと。

	用語	フリガナ	意味
シ	**GSTC**	ジーエスティーシー	グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会（Global Sustainable Tourism Council）の略。 持続可能な観光に関する基準の設定・管理と、認証機関に対する国際的な認定の提供、および持続可能な観光に取り組む人材の育成などを行う非営利団体。
	JSTS-D	ジェイエスティエスディー	Japan Sustainable Tourism Standard For Destinationの略。各地方自治体や観光地域づくり法人(DMO)が持続可能な観光地マネジメントを行うことができるよう、国際基準に準拠し、観光庁によって作成された「日本版持続可能な観光ガイドライン」のこと。
	持続可能な観光	ジゾクカノウナカンコウ	訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適しつつ、現在と未来の環境、社会文化、経済への影響に十分配慮した観光のこと
セ	**生産年齢人口**	セイサンネンレイジンコウ	生産活動を中心となって支える15～64歳の人口のこと
チ	**地域内消費**	チイキナイショウヒ	地域に住む人や訪れる人が、地域内でモノやサービスを購入すること
テ	**DX**	ディーエックス	Dijital Transformationの略。業務のデジタル化による効率化や収集されるデータの分析、利活用による新たなビジネスモデルの創出といった変革を行うもの
	DMO	ディエムオー	Destination　Management Organaizationの略。地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔となる観光地域づくり法人とも呼ばれる。

	用語	フリガナ	意味
	定住人口	テイジュウジンコウ	地域に住居を構えて定住している人のこと
ニ	**二次交通**	ニジコウツウ	目的地に到着した後に、現地で利用する交通手段のこと。主に電車、バス、タクシー、レンタカー、レンタサイクルなど
	日本遺産	ニホンイサン	地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもの。ストーリーを語る上で欠かせない魅力あふれる有形・無形の文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外へ戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としている制度のこと
ネ	**年少人口**	ネンショウジンコウ	0歳～14歳までの人口のこと
ノ	**農泊**	ノウハク	農山漁村に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」のこと
フ	**文化観光**	ブンカカンコウ	文化資源の観覧や体験活動を通じて文化についての理解を深めることを目的とする観光のこと
ヘ	**平準化**	ヘイジュンカ	需要や業務不可などが特定の時期や資源に集中しているといった偏りを排し、均等に配分すること

	用語	フリガナ	意味
ミ	**民泊**	ミンパク	住宅の全部又は一部を活用して、旅行者等に宿泊サービスを提供すること
ユ	**遊休農地**	ユウキュウノウチ	１年以上耕作されておらず、かつ、今後も耕作される見込みがない農地。または周辺地域の農地と比較して、利用の程度が著しく劣っている農地のこと
ロ	**老年人口**	ロウネンジンコウ	65歳以上の人口のこと